

職位/Position 准教授 教員氏名/ Name 石井伸一	オフィスアワー/Office hours F2は火4、金3	研究室/Office number 4402
教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity ・オペレーションズリサーチ学会、日本交通学会、日本土木学会、World Conference on Transport Research ・ISO/TC122/WG12 (Supply Chain Application of Logistics Technology)委員会議長 ・UN/CEFACT日本委員会委員長 (一般社団法人日本貿易関係手続簡易化協会) ・物流における電子タグの利活用検討委員会委員 (一般社団法人日本自動認識システム協会) ・サプライチェーンの迅速・柔軟な組換えに資する衛星を活用した状況把握システムの開発・実証検討委員会 (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) ・次世代ロジスティクス研究会 (早稲田大学総合研究機構次世代ロジスティクス研究所) ・日本創成委員会委員 (一般社団法人日本プロジェクト産業研究会) ・首都圏グローバルハブ空港研究会委員 (一般社団法人日本プロジェクト産業研究会)		
ゼミ名/Seminar グローバルビジネス		
2年次までに修得していることが望ましい科目/ Preferable courses should be taken before the end of second-year studies ロジスティクス概論、国際ロジスティクス論、語学 (大学院のAll English Courseの学生がいる。英語でもゼミを行っている。場合によって合流するため)。		
研究指導内容とその進め方/Teaching system and content I. 初年度 (3年次) /First year(third-year students) 以下の内容を候補として、ゼミ生の要望を聞き入れて決定する ・The GOAL(Elyyahu M. Goldratt and Jeff Cox)の原書購読 ・新規事業開発 (河野賢一) の原書購読 ・企業研究 (各人が企業一社を選び、その企業について多角的に調べ報告、プレゼン) ・ビジネス小説 (例えば、『小説日本銀行』『燃ゆるとき』『オレたち花のバブル組』) を題材としたビジネスの流儀とケーススタディ <hr/> II. 次年度 (4年次) / Second year (fourth-year students) ・企業研究もしくは産業研究をテーマとした卒業論文を作成するために、以下の4回のプレゼンは必須。 第一Q 問題意識とテーマ設定に関する報告 (プレゼン) 第二Q 中間報告 (プレゼン) 第三Q 卒論作成計画 (プレゼン) 第四Q 卒論概要報告報告 (プレゼン) ・グループワークによるディスカッション (複数テーマ) ・ファシリテーションの方法論、聞く力を身に着けるなど社会人として必要なスキルの習得 <hr/> III. 卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others ・卒論は、卒業するのに必須とする (大学生活の集大成) ・大学院でさらなる高みを目指したい学生には修士論文につながるテーマを設定する		
教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books ・ザ・ゴール、新規事業開発 ・経済小説 (フィクションであるが、取材をもとにしているものが多い)		
ゼミライフ : (合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps) ・ゼミ生の希望と自主性により、企画立案による。関東近郊。 ・大学院のゼミ生 (ほとんどが留学生) との交流あり。現在、大学院 (国際アドミ) で英語コース2人を含む合計13人の修士論文を指導している。		
ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments ・社会人から転職してきた教員なので、産業界とのつながりが多い。現地現物、企業見学を予定している ・結果主義。成果を求める。特徴としては体育会系を志向。かなり厳しいと思った方がよい。 ・覚悟を決めて入ってくる。卒業時には充実感とともに、当校に入ってよかったと思ってもらえるよう心掛けている。		